

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 27 年度・後期	対象学科・専攻・学年	2 年 電気電子創造工学科
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	前原	居室 (もしくは所属)	講義棟 1F
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. ルールやマナーを基にサッカーを実践することができる。	⑥		
2. サッカーの基本技術 (ドリブル, パスなど) を身につけるとともに, パスからのシュートを打つことができる。	⑥		
3. バレーボールでのスパイク動作を段階的に実践することができる。	⑥		
4. 長距離走によって基礎体力の向上を図ることができる。	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1-3. 練習およびゲーム・記録測定時のプレー内容・競技記録・スキルチェック等から総合的に判断し評価する。			
4. 長距離走の記録により評価する			
1-4. 必要に応じて出題したレポート課題などから総合的に評価する。			
評価方法			
1. 実技点 (スキルチェックおよび競技記録, ゲーム・記録測定時のプレー内容) : 40%			
2. レポートおよび課題など : 10%			
3. 授業態度 (遅刻, 忘れ物, 服装, 授業への参加度など) : 50%			
授業内容			
<p>●サッカー【7週】</p> <p>①パス, ドリブルの仕方およびルールの確認 [1週]</p> <p>②ボールコントロール (周囲を見る力, マスゲームなど) [2週]</p> <p>③リーグ戦および審判法 [3週]</p> <p>④スキルチェック [1週]</p> <p>●バドミントン【7週】</p> <p>①ラケットの握り方 [1週]</p> <p>②さまざまな打ち方 [各週]</p> <p>③ルールの確認 [1週]</p> <p>④シングルスゲーム (リーグ戦) および審判法 [1週]</p> <p>⑤ダブルスゲームおよび審判法 [3週]</p> <p>●長距離走【各週】</p> <p>①1000m 走</p> <p style="text-align: right;">※以上の授業内容は, 天候や進度状況等により一部変更することがある</p>			
キーワード	サッカー, バドミントン, パフォーマンス向上, コミュニケーションスキル向上, 保健		
	特になし		
参考書	特になし (※保健授業においては教材を教員が用意する)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
○保健体育は出席することが前提条件である (オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については評価の対象にしない)			
1. 実技中心であるが, 最初の授業および雨天時等に保健に関する講義を行うことがある。			
2. 授業では, 学校指定のジャージ, Tシャツ, 短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。			
3. 授業時の無駄な私語, 身勝手な行動, 途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。			
4. 週番は, 授業前までに連絡事項を教員室まで聞きに来ること。また, クラスへの伝達, 出席簿の持参, 用具等の準備をする。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 19 日		